

第67回 八戸市中学校体育大会夏季大会 躍動一中生！ 準優勝4 3位2



中学生のスポーツの祭典中体連夏季大会が、6月18日から3日間、市内各会場において開催されました。今大会では、陸上競技男子、陸上競技女子、バスケットボール女子、剣道男子の4種目において準優勝に輝き、バスケットボール男子とバドミントンが3位入賞を果たしました。準優勝というのは優勝に準ずるということであり、そのことに敬意を表して県大会への出場権が与えられるのです。また、個人種目においても多数の優勝や入賞があり、団体、個人を合わせて51人の生徒が県大会への出場権を得ました。

壮行式では、各部から大会に向けての意気込み（目標）が発表されました、それぞれの目標が達成できた部、できなかった部さまざまだったと思います。活躍報告会の発表を聞いてみると、各部とも悔しい思いはしたけれども、悔いは残さなかったということでした。この、悔いを残さないということが大事です。そして、負けた悔しさを忘れないことも大事です。

今日は皆さんに『臥薪嘗胆』という言葉を紹介します。これは直訳すると「薪（たきぎ）に臥して（寝て）、肝を嘗（な）める」ということで、「目的をなしとげるために、長い間苦心すること」の意味になります。今から2,500年ほど昔の中国に、呉と越という国があり、天下統一をめざして互いに争っていました。呉の国が敗れたとき、呉の国の王が息子に「この敵をとってくれ」と遺言します。呉王の息子は夜薪（たきぎ）をしいて寝ることで、自分の体を苦しめ、復讐の念をかき立て、ついに越軍を破ります。

【裏面に続く】

一方、破れた越王は、苦い動物の肝（きも）を毎日嘗（な）めては、「破れた悔しさを忘れるな」と言い続け、ついには呉の国に勝ったのです。

スポーツは戦争ではありませんが、負けた悔しさを忘れず、次の戦いに勝利するエネルギーにすることは大事なことです。県大会に出場するチームもそうでないチームも、間もなく、2・1年生中心の新しいチーム体制になります。今回の戦いの成果と課題を整理し、負けた悔しさを忘れず、次の戦いに備えましょう。新チームの検討を祈ります。

文化部を中心に応援に回った生徒の皆さん、3日間大変お疲れ様でした。皆さんの応援に勇気づけられて、選手も十分に自分の力を発揮できたと思います。文化部の活動はこれからが本番になります。どうぞ、思い切り活躍してください。最後に、3日間応援に駆けつれたりお弁当を作ったりしていただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

大会結果一覧(個人☆印が県大会出場)

【バスケットボール女子】準優勝 県大会出場

2回戦 ○ 72 - 37 鮫中
3回戦 ○ 49 - 43 下長中
準決勝 ○ 44 - 38 第三中
決勝 × 53 - 64 大館中

【バドミントン】団体第3位 県大会出場

ダブルス 優勝 ☆白田葵・伊藤理紗組

【陸上競技男子】総合準優勝

走り高跳び 1位 ☆山本悠太
2位 ☆西村耀介
走り幅跳び 4位 山崎昌都
1年100m 1位 ☆三浦勝聖
800m 5位 工藤真人
6位 松森功龍
1年1500m 3位 ☆橋場飛明
2・3年1500m 4位 石ヶ森荘眞
110m障害 3位 ☆土屋陸王
低学年400mリレー 3位 ☆上野・三浦・森外・妻神
棒高跳び 1位 ☆日向溪介
四種競技 1位 ☆赤坂宏太

【野球】 1回戦 × 3 - 4 江陽中

【剣道】男子団体準優勝 県大会出場

男子 団体1回戦 ○ 2 - 0 市川中
準決勝 ○ 4 - 0 第二中
決勝 × 1 - 4 小中野中
個人戦 優勝 ☆目代刀己
女子 団体1回戦 × 0 - 3 三条中

【バスケットボール男子】第3位

1回戦 ○ 61 - 39 第二中
2回戦 ○ 68 - 66 白銀中
準決勝 × 47 - 63 白山台中

【柔道】

男子 団体1回戦 × 1 - 3 小中野中
シングルス 第3位 ☆高橋実久

【陸上競技女子】総合準優勝

走り幅跳び 3位 ☆下館倫
1年100m 6位 大橋玲奈
2年100m 4位 成田彩夏
6位 村上千聖
800m 5位 小屋敷茉恵
2・3年1500m 3位 ☆若林凜
100m障害 3位 ☆石田りりか
低学年400mリレー 3位 ☆丸井・村上
成田・大橋

2位 ☆金子茉央 3位 ☆仙台泰斗

【バレーボール】 2回戦 × 1 - 2 白銀南中

【サッカー】 1回戦 × 1 - 2 下長中

【ソフトテニス】

男子 団体1回戦 × 0 - 3 市川中
女子 団体1回戦 × 0 - 2 湊中

【卓球】

男子団体予選リーグ0勝3敗 予選敗退
男子個人 ☆山岸巧実
女子団体予選リーグ1勝2敗 予選敗退

